

岡山大学環境方針

基本理念

岡山大学は、「かけがえのない地球環境をまもり、自然豊かな環境を明日の世に引き継ぐことが人間社会の基本的な責務である」との認識に立ち、本学における教育、学術研究を始めとするあらゆる諸活動を通して、持続性のある循環型社会を構築し、維持するために地球環境への負荷の低減に努め、サステイナブル・キャンパスをめざします。また、岡山大学を真に国際的な学術拠点として、都市・地域が連繫した「実りある学都」をめざします。

基本方針

岡山大学は、11の学部と、7研究科並びに3研究所、岡山大学病院、附属学校園等を擁した総合大学としての特徴を活かし、以下の活動を積極的に推進します。

1. 地球環境・地域環境・生物多様性に関連する教育及び学術研究の活動を推進し、国内外の環境分野において中核的に活躍しうる高い総合的能力と人格を備えた人材を養成するとともに、環境の保全及び改善に貢献する新たな研究成果の創成と継承に取り組みます。
2. 環境に関する公開講座、シンポジウム等の開催のほか、地域社会との連携を推進し、環境配慮に関する貢献活動に取り組みます。
3. 環境に関する法令、協定及び自主基準等を遵守します。
4. 事業活動において、次の項目を地球環境保全の重点テーマとして取り組みます。
 - ① 省エネルギーの推進
 - ② 地球温暖化対策
 - ③ 省資源対策
 - ④ 廃棄物の減量化・再資源化及び有害廃棄物の適正処理
 - ⑤ グリーン購入の推進
 - ⑥ 化学物質の管理徹底
5. 教職員、学生、生徒など岡山大学に関係する全ての人々が、それぞれの立場で、自発的・積極的に環境保全活動の継続的な改善・向上に取り組みます。

2017年4月1日
国立大学法人岡山大学長 横野 博史

岡山大学

環境報告書 2017

OKAYAMA UNIVERSITY
ENVIRONMENTAL REPORT



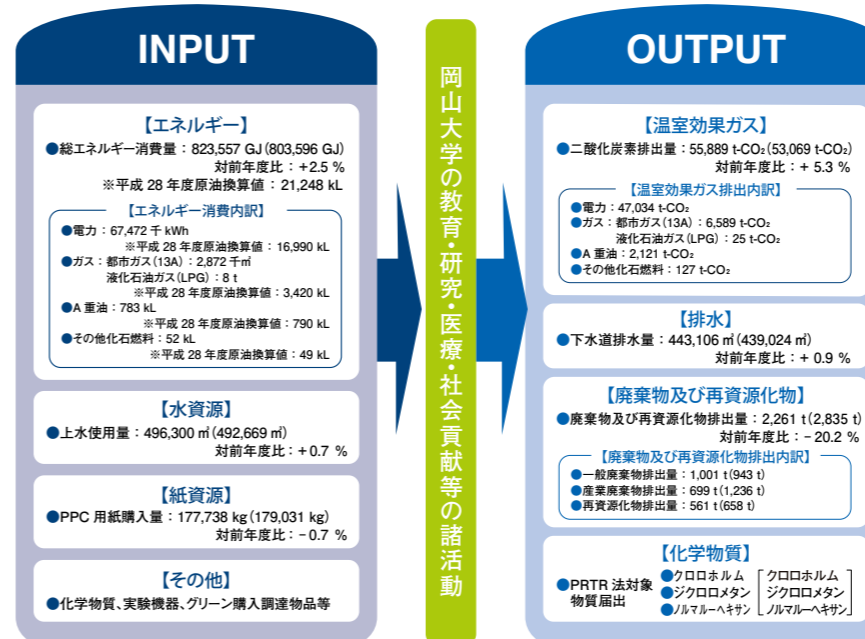
OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く

ダイジェスト版 Digest Version



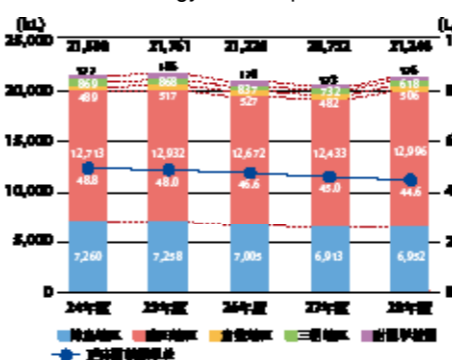
環境負荷の状況 Environmental Load



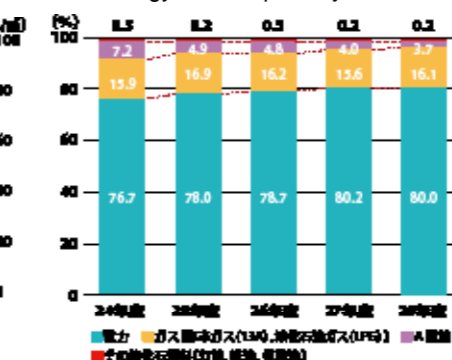
平成28年度岡山大学の諸活動に伴う環境負荷の概要
()内は平成27年度の負荷量

Environmental Load of Okayama University for the 2016-2017 School Year from April 2016 to March 2017. Parentheses denote environmental load for the 2015-2016 school year from April 2015 to March 2016

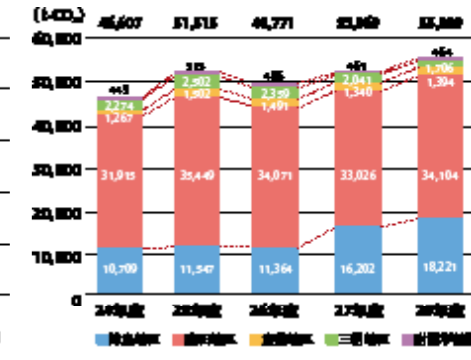
エネルギー消費状況
Energy Consumption



エネルギー別消費状況
Energy Consumption by Source



温室効果ガス(二酸化炭素)排出状況
Greenhouse Gas (CO₂) Emissions



Okayama University Environmental Policy

Basic Principle

Based on the recognition that protecting and passing down the bounty of nature in the global environment to the next generation should be a fundamental pursuit, Okayama University strives to do its part in contributing to the realization of a sustainable recycling-oriented society and reducing environmental load through its research and education programs, and in a wide range of other activities through out the university with the goal of creating a sustainable campus. In addition, we have also worked with the city and its communities to establish a new university town designed to serve as a base for international research in collaboration.

Basic Policies

Okayama University leverages the characteristics of its 11 faculties and seven graduate schools, related three research laboratories, attached hospital and schools to promote the following activities:

1. Research and education related to the global and regional environments and biodiversity, the cultivation of human resources that exhibit a high degree of comprehension applicable to environmental areas both at home and abroad, and research that contributes to the preservation and improvement of the environment.
2. Extension courses and symposiums on the environment, collaboration with regional society, and contributions to the environment.
3. Compliance with laws, regulations, agreements, and voluntary standards regarding the environment.
4. Global environment preservation activities in business activities:
 - (1) Promotion of energy saving
 - (2) Measures against global warming
 - (3) Measures for resource saving
 - (4) Waste reduction, recycling, and the proper processing of hazardous waste
 - (5) Promotion of green purchasing
 - (6) Thorough management of chemical substances
5. The continual improvement of environmental preservation activities by faculty, students and everyone else at Okayama University.

April 1, 2017
Hirofumi Makino
President, Okayama University

編集・企画 : 環境マネジメント委員会 環境広報専門部会
竹内文章、西村伸一、加藤内蔵進、並原秀起、明石正、山下泰彦、新西正典、諸泉利剛

お問合せ窓口 : 〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1
国立大学法人岡山大学安全衛生部安全衛生課環境管理グループ
TEL/FAX.086 (251) 7281
詳細については、岡山大学環境報告書(日本語版、英語版)をご覧ください。
岡山大学ホームページで公開しています。
<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/er.html>



岡山大学環境報告書

検索



環境に関する社会貢献 Environmental & Social Contributions

岡山大学環境管理センター公開講演会
「資源循環からみた未来社会の構図」
Public Presentations Hosted by the Okayama University Environmental Management Center
“Composition of Future Society Seen from Resource Circulation”

平成28年6月18日(土)に「資源循環からみた未来社会の構図」というテーマで、環境管理センター公開講演会を開催し、次の講演があり、活発な質疑応答がありました。

- (1) 「人類と地球の関係が変わる21世紀の未来設計図」
(一財) 持続性推進機構・理事長 安井 至
- (2) 「都市鉱山を活用する資源循環の未来」
東京大学大学院工学系研究科
マテリアル工学専攻特任准教授 醍醐 市朗
- (3) 「川崎エコタウン事業の経験と今後の取組
～環境技術・環境産業を活かしたサステナブル・シティの創造に向けて～」
川崎市経済労働局国際経済推進室 小林 昭一

毎年6月の環境月間には、環境管理センターでは、公開講演会を開催しています。お気軽にご参加ください。



公開講演会の様子
Public Presentation

岡山大学環境管理センター公開講座
「日本の環境問題と岡山大学の環境活動」
Public Lecture Hosted by the Okayama University Environmental Management Center
“The Environmental Problems in Japan and Environmental Activities Held by Okayama University”

平成28年12月10日(土)に「日本の環境問題と岡山大学の環境活動」というテーマで環境管理センター公開講座を開催しました。

最初に、西村伸一センター長による公害問題に端を発した日本の環境問題は、時代と共に変化していき、それに対応した日本の環境政策の変遷の中で生まれた環境マネジメントの考え方についての講義がありました。

次に、竹内文章教授による地球温暖化についての影響、対策の重要性、岡山大学における実施基本計画や身近な対策の事例、対策についての検証結果等の講義が行われ、最後に嶋田真一准教授から毎年公表されている「環境報告書」を通して、本学における環境管理組織、環境教育・研究及び自主的環境活動、環境負荷の状況等についての説明がありました。

本学の一連の公開講座では、受講者には修了書が授与されています。



修了証授与の様子
Ceremony for Award of the Certificate of Completion

